

草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	パラオ共和国
2. 案件名	体育教育充実と住民同士のスポーツ交流促進によりバベルダオブ島内 4 州を元気にするプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	パラオでは生活習慣の変化により肥満や糖尿病などが深刻化し、学校を基盤とした健康づくりが重要課題となっている。一方で、体育教育の標準化や教員育成、体力テストの実施、地域のスポーツ活動には課題がある。本事業は小学校での体育教育・体力テスト体制を整備し、住民参加型運動会の復興を通じて地域交流と健康増進を促進し、学校と地域が連携する持続的な健康づくりの基盤構築を目指す。
4. プロジェクト目標	対象地域の小学校において適正な体育教育および体力テスト実施体制を構築し、あわせて住民向けの運動会復興により地域コミュニティの活性化を図る。
5. 対象地域	アルモノグイ州、エサール州、マルキョク州、ニワール州
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接受益者 ・運動会実施を行う体育教員 2 名（アルモノグイ小学校およびマルキョク小学校に勤務する教員 1 名ずつ）、教育省体育教育主任 1 名 間接受益者 ・アルモノグイ州人口約 350 名（アルモノグイ小学校に通う生徒約 50 名含む） ・マルキョク小学校区域の 3 州（マルキョク州・エサール州・ニワール州）合計約 950 名（マルキョク小学校に通う生徒約 80 名含む） 【本邦研修】 周南市立周陽小学校の生徒約 160 人、周南市立徳山小学校の生徒約 600 人、周南市立勝間小学校の生徒約 300 人
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1. 対象地域内 2 小学校（マルキョク小学校・アルモノグイ小学校）に勤務する体育教員（2 人）およびパラオ教育省体育教育主任 1 人の計 3 人の体育人材（A）が育成され、適正に体育授業が実施される。 2. 対象地域で適正な体力テストが実施され、結果の集計により対象地域の小学生の体力の現状・経年変化を把握する。 3. 各小学校で住民参加型の運動会が、現地関係者の主体的な企画・運営により実施される。 <活動> 1-1 パラオ教育省ディレクター、対象地域内 2 小学校長と協議し、人材（A）を育成する旨を説明し理解を得る。 1-2 対象地域の小学校において、育成する人材（A）の見本となる模擬授業を事業従事者により実施する。 1-3 人材（A）に適切な体育授業ができるよう教材の提供や技術指導を実施する。 1-4 人材（A）に本邦研修を実施する。 1-5 人材（A）に理解度テストを行い、修了証を贈呈する。 2-1 体力テストの内容・方法・実施時期についてパラオ教育省ディレクター、対象地域内 2 小学校長、人材（A）に説明し理解を得る。 2-2 体力テストに必要な情報を収集する。 2-3 体力テストの測定方法について人材（A）にパラオおよび本邦での研修を行

	う。 2-4 毎年1回程度体力テストを行う体制を整える。 2-5 結果を収集し、入力、解析、現状・経年変化把握を行えるよう指導する。 2-6 人材（A）に理解度テストを行い、修了証を贈呈する。 3-1 住民参加型の運動会の実際について本邦研修を実施し、内容や意義、運営について理解を深める。 3-2 人材（A）に対し企画段階から助言・指導を行い、州対抗あるいは小学校対抗での運動会の実施ができるよう、実施計画を作成する。（住民同士の交流や文化継承のための内容も含める。） 3-3 運動会を実施するための資器材の収集を行い、統一したメニューで実施できるようマニュアル（実施要項）やプログラムを作成する。 3-4 住民参加型運動会を実施する。（地域対抗や学校対抗にすることにより、事前説明会や事前練習などにより運動する機会やコミュニケーションの場を提供するよう誘導する。） 3-5 運動会実施後、問題点・改善点などを振り返り、翌年以降の実施に繋げる。 3-6 人材（A）を運動会実施委員として認定し、認定証を贈呈、翌年以降の実施に繋げる。
8. 実施期間	2026年9月～2029年8月（3年0か月）
9. 事業費概算額	9,995千円
10. 相手国側実施機関 （カウンターパート）	パラオ教育省
Ⅱ. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	公立大学法人周南公立大学
2. 主な活動内容	地域貢献及び国際交流を推進するため、スポーツ・健康づくり・教育分野を中心とした教育研究活動を積極的に展開している。